

小山工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	人間と科学Ⅱ（法学）	
科目基礎情報							
科目番号	0041		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	建築学科		対象学年	5			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	教科書 伊藤正己ほか『現代法学入門（第4版）』有斐閣						
担当教員	土屋 政憲						
到達目標							
.「法とは何か?」という質問に一定の解答がなされること。 国際社会において法に関する社会事象が簡単に説明できる。"							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	.「法とは何か?」という質問に一定の解答がなさ問題が抽出できる。		.「法とは何か?」という質問に一定の解答がなされること。		.「法とは何か?」という質問に一定の解答がなされない。		
評価項目2	国際社会において法に関する社会事象が簡単に説明でき問題の抽出ができる。		国際社会において法に関する社会事象が簡単に説明できる。"		国際社会において法に関する社会事象が簡単に説明できない。		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ① JABEE (D)							
教育方法等							
概要	法学概論ではなく法学入門である。したがって各法律の条文を説明・解釈するのではなく社会規範としての法律の概要を学習する。						
授業の進め方・方法	口述を中心とする展開であるが、可能な限りトピックを取り上げディベートの素地を吸収していただきたい。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	法と社会生活		左記内容を理解する		
		2週	法と道徳		左記内容を理解する		
		3週	法と強制		左記内容を理解する		
		4週	法の目的		左記内容を理解する		
		5週	権利と義務		左記内容を理解する		
		6週	裁判制度		左記内容を理解する		
		7週	法源		左記内容を理解する		
		8週	事実認定と法の解釈		左記内容を理解する		
	4thQ	9週	法の解釈の性質		左記内容を理解する		
		10週	法の解釈の方法		左記内容を理解する		
		11週	法の解釈の分類		左記内容を理解する		
		12週	法解釈学と法社会学		左記内容を理解する		
		13週	. 法の分類		左記内容を理解する		
		14週	実定法の体系		左記内容を理解する		
		15週	自然法		左記内容を理解する		
		16週	試験		左記内容を理解する		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0